

## 患者さまへ

### 「スペクトル CT を用いた冠動脈、大動脈弁、大動脈解離腔、心筋、肺実質の新しい 評価法の開発 既存の臨床データを用いた後ろ向き解析」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2021年10月より2025年12月までに当院放射線科に診療ガイドラインに沿って臨床的に必要と担当医に判断され、2層検出器を持つ128列マルチスライスCT(Multi slice computed tomography: MSCT)で撮影を行った/行う患者さま (冠動脈評価、心臓内血栓評価、カテーテルアブレーション前に肺静脈と左心房の解剖評価、経カテーテル的大動脈弁置換術前の大動脈弁、上行大動脈評価、肺塞栓症評価、大動脈解離評価、心筋変性などで必要と判断された患者さま)
2 研究目的・方法	千葉西総合病院では2021年10月に2層検出器を持つ128列マルチスライスCTの、日本における1号機が導入されました。このCTでは通常の撮影法を行った後、従来のCTでは画像化が困難であった、将来発生する大動脈解離の原因となりうる“大動脈の壁が変性した病変”などの画像化が、余分な放射線被ばく、造影剤の使用なく可能です。このCTの能力を利用して様々な新しい診断法が作成できると考え、すでに得られている診療録の情報から研究を実施します。 研究期間: 当院施設院長承認後～2026年12月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、体重、身長、Body Mass Index、原疾患、合併症、家族歴、過去の病歴、服薬状況、急性冠症候群(急性心筋梗塞＋不安定狭心症)発現の有無、心原性脳塞栓症発現の有無、肺塞栓症発現の有無、経カテーテル的大動脈弁置換術成功の有無、CT画像情報、CT撮影時点の心臓超音波の各種計測値等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 千葉西総合病院 放射線科 診療放射線技師 (国際医療福祉大学 大学院医療福祉学研究科 保健医療学専攻 医用画像学領域(基盤研究コース)) 宿谷篤 千葉県松戸市金ヶ作 107-1 連絡先:047-384-8111